

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和7年度学校評価 結果・学校関係者評価

達成度(評価)
A: 十分達成できている
B: おおむね達成できている
C: やや不十分である
D: 不十分である

1 前年度 評価結果の概要
・課題に挑む子どもたちの育成に向けて、子どもが実力を発揮できる環境づくり・授業づくりをテーマに全職員で共通理解のもと共通実践を行い、学習意欲と課題解決に向かう粘り強さが向上した。しかし、「読み取る力」は低く、その育成は課題である。
・安心安全な環境づくりをテーマに全職員の安全管理意識の高揚と児童の健康体力づくりに努めた。その結果、児童が各種避難訓練、安全教室等に主体的に取り組むことができた。また、全校級で県のスポーツチャレンジ種目に挑戦し、その成績は県よりエントリー賞として表彰を受けるなど、全校で健康体力づくりへの機運が高まっている。この雰囲気も小中学校で連携した取組として今年度も継続していきたい。
・地域、保護者に開かれた学校をテーマに地域連携協働活動を積極的に推進し、特に今年度は、地域の公民館活動及び福祉活動との連携を推進した。その結果、地域に役立つ自分を理解し、子どもたちが生き生きと活動する姿が見られ、一人一人の自己肯定感が高まっている。今年度もこれらの活動を継続発展させ、その過程で具体的な思考力、判断力、表現力等の育成に繋げていきたい。□

2 学校教育目標
豊かな心をもち 生き生きと自分の「よさ」を発揮できる漢っ子の育成

3 本年度の重点目標
課題に挑む子どもたちの育成に向けて、子どもたちが実力を発揮できる環境づくり、授業づくり。
【環境づくり】すべての子供が笑顔で学ぶことができるための「安心・安全な環境づくり」「地域・保護者に開かれた学校づくり」「職員の笑顔づくり」を行う。
【授業づくり】校内研究や行事への取り組みなど、共通実践による「確かな学力の向上」「開発的生徒指導」を行う。

4 重点取組内容・成果指標
(1)共通評価項目
(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目

Table with 10 columns: 重点取組, 取組内容, 成果指標(数値目標), 具体的取組, 中間評価(進捗度, 進捗状況と見通し), 達成度(評価), 最終評価(達成度, 実施結果), 学校関係者評価(評価, 意見や提言), 主な担当者. Rows include 学力の向上, 心の教育, 健康・体づくり, 業務改善・教職員の働き方改革の推進, 特別支援教育の充実.

5 総合評価・次年度への展望
・全ての児童が笑顔で学ぶことができるための環境づくりでは、自他の生命を尊重するための道徳の授業やいじめ対策など様々な取組を行っており一定の成果が上がっている。しかしながら、学校が楽しいと思う児童の割合が少ない。人間関係のこじれや学習に起因することが多いので、それに、対応し改善していくことが必要である。
・学力向上の取組では、学校内での、児童の主体的な学習意欲が高まった。しかしながら、家庭学習の習慣化や学習内容の定着は課題である。
・職員が元気に児童の前に立ち、教育の効果を高めるために、業務の精選、効率化、平準化を行い、働き方改革を推進していくことは急務である。